

## 中学生に求められている勉強法とは

各中学で期末テストが終わりました。新中1で3月にスタートし、3ヶ月以上指導していると、勉強に関する個々の課題点や才能の片鱗は見えてくるものです。ただ、こちらが思っている評価が中学の通知表の評価に対応するかというと、毎年何人かは「意外な」結果を持ってきます。

今回の期末テストは9科目の試験です。1日に3科目で3日間のテストですが、音楽や美術などは、この時くらいしかペーパーテストの勉強をやらないので、何をすればいいのか、どこまで覚えるべきなのかなど、わからないことだらけになる人もいます。また、時間の配分を考えずにやりだして、結局前日になって2、3回教科書を読むだけでテストに臨んでしまう人もいます。結局英数だけは良い点なのに、実技4科目は50点満点かと目を疑いたくなるような結果になってしまった人を何人も見てきました。

愛知県の公立高校入試制度は、当日の5科目の得点と、9科目の通知表の評定合計点をほぼ対等に扱って合否判定します。つまり例えば数学の「5」と美術の「5」は内申点合計上等価値となります。その結果、仮に5科目の学年順位が1位で試験当日高得点を取れる実力があっても、実技4科目の通知表が悪ければ旭丘や菊里に行くことはできなくなります。

最近は逆に、実力が無くても内申点合計をそろえる「内申エリート」も多くなっていますので、通知表だけで高校を選ぶと入学後苦勞するケースもあります。

結局のところ、現在の愛知県の入試制度では、各学校における評価（内申点）を重視していますので、9科目のどの科目にも、まじめに取り組み、定期テストや提出物などを、計画的にこなす生徒を高く評価しているわけです。

「これでは一芸に秀でた才能ある個性を伸ばせない」という批判は確かにあります。しかし社会人になってから要求されるのは、多くの場合、複数の仕事を同時にこなしていく能力であるように思います。仕事のできる人というのは、まず「計画的な時間の使い方」が上手であると思います。

定期テストの勉強を計画的に行なうことは、社会人として仕事を効率よく行なうための練習になるのではないかと思います。

### 【算数の世界 6月号結果】

解答は別紙のとおりです。 応募総数 9通 正解者は以下のとおりです。  
 中3 丹羽孝光・野田啓輔・神谷俊広 中2 高木紘基（以上4名完全正答）  
 中3 和田友寿・五十嵐直樹 中2 日高巧鷹（以上3名準正解）

【算数の世界】は切り取り式の解答欄をつけて別紙と致します。なお、裏面に、【パズルの世界】をもうけますので、小学生をはじめ、数多くの方のチャレンジを期待しています。応募は【算数の世界】【パズルの世界】のいずれか一方でもかまいません。【パズルの世界】は、正解者多数の場合、抽選で3名の方にノートを差し上げます。